

USB FD UNIT

USB FD ユニット ユーザーズマニュアル

LFD-31U4
LFD-31U2 LFD-31U2JP
LFD-31UE LFD-31UEJP
LFD-35V LFD-35V2

Logitech

目次

取扱い上のご注意	1
ごあいさつ	2
ご注意	2
付属品の確認	3
第1章 製品のご紹介	4
1.1 製品概要	4
1.2 取り扱いなどに関して(全環境共通)	6
第2章 Macintosh の場合	8
2.1 使用環境	8
2.2 ドライバのインストール	10
2.3 接続の手順	13
2.4 補足事項	14
2.5 トラブルシューティング	16
第3章 Windows CE の場合	18
3.1 使用環境	18
3.2 ドライバのインストール	20
3.2.1 ホストパソコンを使用する場合	21
3.2.2 ドライバをダウンロードする場合	23
3.3 本製品の接続	26
3.4 補足事項	28
3.5 トラブルシューティング	30
第4章 Windows XP, Me, Windows 2000 の場合	32
4.1 使用環境	32
4.2 接続の手順	34
4.3 本製品を取り外したい場合	36
4.4 フォーマット手順(Windows XP)	38
4.5 フォーマット手順(Windows Me)	41
4.6 フォーマット手順(Windows 2000)	43
4.7 トラブルシューティング	46
第5章 Windows 98 の場合	48
5.1 使用環境	48
5.2 接続とインストールの手順	50
5.3 補足事項	57
5.4 トラブルシューティング	60
ハードウェア仕様	62

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。



この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

ケースは絶対に分解しないでください。内部には感電の危険性がある部分もあります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



分解禁止

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。



水濡れ禁止

衝撃や振動の加わる場所、高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。



その他の注意事項

ごあいさつ

この度は弊社フロッピーディスクユニットをお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書はフロッピーディスクユニットに関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社フロッピーディスクユニットによって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用した環境でデータがハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって失われた場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

付属品の確認

フロッピーディスクユニット	1台
「Logitech USB-FD Drivers」CD-ROM	1枚
FDユニットセットアップガイド	1枚

* Windows は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。

* Apple、Macintosh、Mac、PowerBook、iMac、eMac、iBook、MacOSは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

* PC-9800は日本電気株式会社の商標です。

* 本書に記載されているパソコン名等は、併記された各社の商標または登録商標です。

第 1 章

製品のご紹介

1 . 1 製品概要

本製品は、Macintosh、Windows CE、Windows XP、Windows Me、Windows 2000、Windows 98 で使用できる USB フロッピーディスクユニットです。(ただし、接続可能なパソコンは限定されます。詳細については第 2 章～第 4 章をご参照ください。)

USBポートに接続するタイプのコネクタを持つフロッピーディスクユニットですので、フロッピーディスクドライブを持たないサブノートパソコンなどに最適です。

インターフェースとして USB(Universal Serial Bus)を採用しているため、パソコン本体の電源が ON になっている状態で着脱可能です。あらかじめドライバをインストールしておけば、接続するだけですぐにフロッピーディスクドライブとして使用することができます。

電源は USB コネクタから供給されます。AC アダプタ等の接続は必要ありません。

コンパクトなデザインで設置に場所を取りません。

LFD-31U4 はディスク回転数を 4 倍速に、LFD-31U2、LFD-31U2JP、LFD-35V2 はディスク回転数を 2 倍速にすることで、読み込み時間、書き込み時間がそれぞれ短縮しています。ストレスを感じることなくデータのやり取りを行うことができます。



ご注意

- ・原則的に本製品からのシステム起動はできません。(ただし、パソコン本体の機能として、USBフロッピーディスクからのシステム起動が保証されている場合に限り、システム起動を行うことができます。)
 - ・本製品をパソコンに複数台接続することはできません。接続は1台だけです。
 - ・本製品をUSBハブに接続している場合は、必ずUSBハブをセルフパワー(USBハブにACアダプタを接続して独立した電源を取ること)でご使用ください。USBハブをバスパワー(USBコネクタから電源を取ること)で使用すると、電流不足のため正常に動作しません。
 - ・コピープロテクトなどの目的で、特殊なフォーマットを施されたフロッピーディスクは、取り扱えない場合があります。
-

本書で使用する略語について

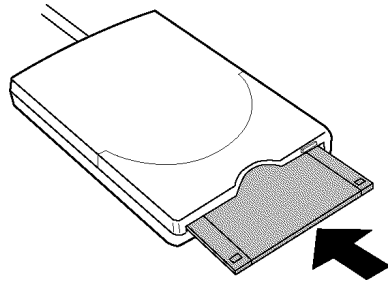
- ・「Windows Powered Handheld PC 2000 (日本語版)」を「Windows Handheld PC 2000」と表現することがあります。「Windows CE, Handheld PC Professional Edition, Version 3.0 (日本語版)」を「Windows CE H/PC Pro3.0」と表現することがあります。またこの2つをあわせて「Windows CE」と表現することがあります。
- ・「Windows Handheld PC 2000 搭載のパソコン」、または「Windows CE H/PC Pro3.0 搭載のパソコン」を「ハンドヘルドパソコン」と表現することがあります。
- ・「USBポートを搭載したWindowsXP / Me / 98 / 2000 搭載のノートパソコン」を「ノートパソコン」と表現することがあります。

1 . 2 取り扱いなどに関して (全環境共通)

本製品の接続 / インストール方法などは環境によって異なるため、第2章～第4章で環境ごとに説明します。ここでは、それに先立って全環境に共通の取り扱いなどを説明します。

フロッピーディスクをセットする時は・・・

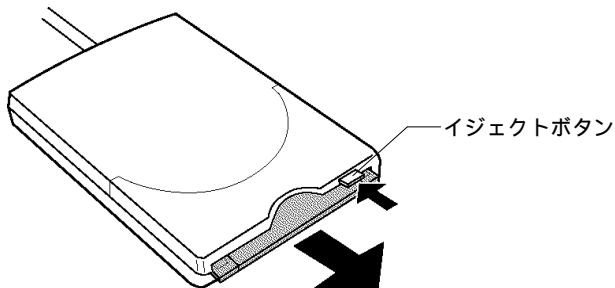
フロッピーディスクをセットする時は、右図のようにラベル面を上にして挿入してください。



フロッピーディスクを取り出す時は・・・

フロッピーディスクを取り出すときは、次の点を確認してからイジェクトボタンを押して取り出してください。

- ・フロッピーディスクのアクセスランプが点灯していないことを確認する。
- ・フロッピーディスク上のファイルを操作していないことを確認する。(フロッピーディスクに保存した文書をワープロで編集集中の場合など。)





ご注意

Macintosh の場合は、フロッピーディスクを取り出す前にアンマウントが必要です。詳細については第2章の「2.4 補足事項」をご参照ください。

本製品を取り外すときは

USBはホットプラグ機能を持っていますので、パソコン本体の電源がONになっている状態で本製品を取り外すことも可能です。これを行う場合は、前項目にしたがって本製品からフロッピーディスクを取り出してから、USBケーブルを外してください。



ご注意

パソコンがスリープ(サスペンド)状態にあるときは、フロッピーディスクの取り出しや、本製品の取り外しを行わないでください。

第2章

Macintosh®の場合

2.1 使用環境

パソコン環境

パソコン本体 (*1)	アップルコンピュータ社 Mac mini iMac シリーズ、 iBook シリーズ Power Macintosh G3 (Blue & White) シリーズ Power Mac G5 シリーズ Power Mac G4 シリーズ Power Mac G4 Cube、 eMac シリーズ Macintosh PowerBook G3 (BronzeKeyboard) シリーズ PowerBook (FireWire) 、 PowerBook G4
メインメモリ	32 MB 以上
ハードディスク	1 MB 以上の空きがあること
OS	Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 (*2) Mac OS X 10.1 ~

*1 Server を除きます。

*2 Mac OS 8.6 以降の環境を推奨します。

OS は日本語 OS に限ります。また iMac(ボンダイブルー)で Mac OS 8.5.1 を使用する場合には「iMac アップデート 1.1」が導入済みでなければなりません。

*3 Mac OS X でご使用になる場合は付属 CD-ROM の説明ファイルをご覧ください。



ご注意

- ・本製品はオートイジェクト機能を持っていません。フロッピーディスクの取り出しは前面のイジェクトボタンで行います。
- ・複数のフロッピーディスクを使う一部のアプリケーションで従来の Macintosh シリーズ内蔵フロッピーディスクドライブを前提として作成されているものでは、フロッピーディスクの交換ができない場合があります。
- ・コピープロテクトなどの目的で、特殊なフォーマットを施されたフロッピーディスクは、取り扱えない場合があります。

メディアについて

メディア	フォーマット形式	リード/ライト	フォーマット
2HD	1.4 MB Macintosh		
	1.44 MB DOS / V		
	1.25 MB PC - 9800	×	×
	1.4 MB ProDOS	×	×
2DD	800KB Macintosh	×	×
	720 KB DOS / V		
	640KB PC - 9800	×	×



 ご注意

- ・フォーマットのダイアログでは「1.4M ProDOS」が項目として表示されますが、正常にフォーマットできませんので選択しないでください。
 - ・DOS/V パソコンの形式でフォーマットされたフロッピーディスクを使用するためには、MacOS 標準のユーティリティ「File Exchange」を使用する必要があります。
-

2 . 2 ドライバのインストール

Point

本製品を使用する場合は、本製品を接続する前に以下の手順で付属のドライバをインストールしなければなりません。

!

ご注意

本章で説明する手順でインストールされるドライバは、基本的に以下のバージョンの Mac OS で動作します。

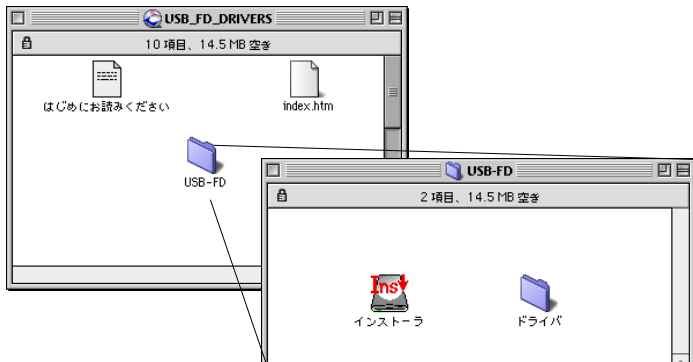
- ・ Mac OS 8.5.1 + iMac アップデート 1.1
- ・ Mac OS 8.6 ~ 9.2.2

iMacシリーズ(ボンダイブルー)の場合、出荷時の状態では上記の条件に適合しないため、エラーが発生してドライバのインストールができません。このような場合には、OSのバージョンアップを行ってください。

インストールの手順

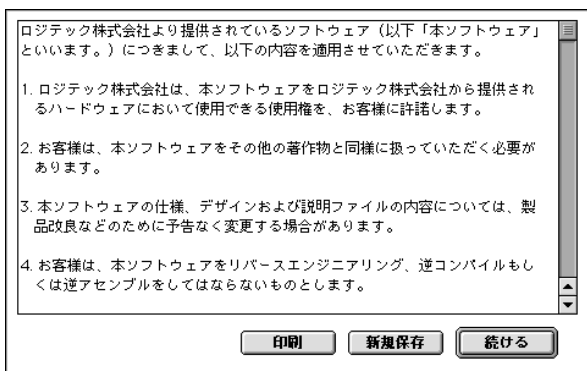
Macintosh シリーズのシステムを起動して、CD-ROM ドライブに本製品付属の CD-ROM 「Logitech USB-FD Drivers」をセットしてください。

CD-ROMのアイコンをダブルクリックし、下のウィンドウ(左)が開いたら、「USB-FD」のフォルダを開き、その中に保存された「インストーラ」と書かれたアイコンをダブルクリックしてください。



注意事項や著作権と制限事項が表示されます。内容を確認して「続ける」ボタンをクリックします。

著作権と制限事項に同意しない場合は、「続ける」ボタンをクリックした後に表示される次の画面で「終了」ボタンをクリックすることで、インストールを中止することができます。



2

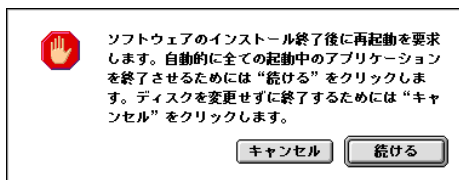
インストール確認画面が表示されます。「お読みください」ボタンをクリックして表示される先ほどの注意事項や、著作権と制限事項に同意する場合は、「インストール」ボタンをクリックします。

著作権と制限事項に同意しない場合は「終了」ボタンをクリックし、インストールを中止します。

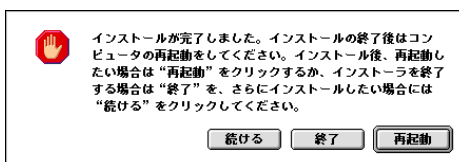


2.2 ドライバのインストール

インストールを続行すると、最後にシステムを再起動する必要があるため、以下のような警告メッセージが表示されます。他のプログラムなどが動作していないことを確認したら、「続ける」ボタンをクリックしてください。



必要なドライバがシステムフォルダに転送されます。作業が終了すると、以下のウィンドウが表示されますので、「再起動」ボタンをクリックして、システムを再起動してください。



システムが再起動したら、インストールは完了です。次に2.3節にしたがって本製品の接続を行ってください。

2.3 接続の手順

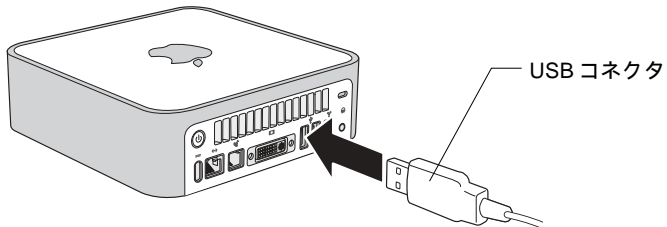
ここでは本製品をMacintoshシリーズのUSBコネクタに接続する手順を説明します。接続はMacintoshシリーズの電源がONになっている状態で行ってもかまいません。



ご注意

本製品をUSBハブに接続する場合は、必ずUSBハブをセルフパワー（USBハブにACアダプタを接続して独立した電源を取ること）でご使用ください。USBハブをバスパワー（USBコネクタから電源を取ること）で使用すると、電流容量不足のため正常に動作しません。

本製品に直付けされているUSBケーブルの先のコネクタを、Macintosh本体のUSBコネクタに接続してください。このコネクタは正しい方向でしか接続できません。



ご注意

MacintoshシリーズのキーボードにもUSBコネクタがありますが、キーボードのUSBコネクタには接続しないでください。

以上で接続は終了です。これで本製品を使用可能な状態になりました。次節（2.4節）ではMacintosh特有の補足事項を説明しますので、必ずお読みください。

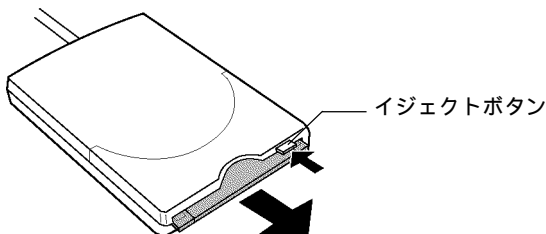
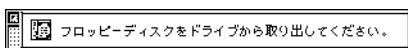
2 . 4 補足事項

フロッピーディスクを取り出す時は・・・

フロッピーディスクを取り出す時は、必ずフロッピーディスクをアンマウントしてください。アンマウントは以下のどれかの方法で行います。

- ・フロッピーディスクのアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねる。
- ・フロッピーディスクのアイコンを1回クリックして選択状態にし、「特別」メニューの「取り出し」を選択する。
- ・フロッピーディスクのアイコンを1回クリックして選択状態にし、アップルキー+Eを入力する。

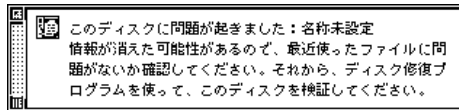
いずれの方法でアンマウントした場合も、以下のようなメッセージが表示されて、フロッピーディスクのアイコンが消えます。この状態で本製品前面のイジェクトボタンを押して、フロッピーディスクを取り出してください。フロッピーディスクを取り出すと、メッセージウィンドウは自動的に閉じます。





ご注意

- ・Macintosh 本体がスリープ状態にある時は、フロッピーディスクの取り出しを行わないでください。
- ・前ページのように正しい手順を踏まないでフロッピーディスクを取り出したり、USBコネクタを外すと、以下のようなエラーメッセージが表示されます。これが表示された場合は、速やかにフロッピーディスク / USBコネクタを元に戻してください。



Mac OS 9.0.2、9.0.3 をご使用の場合は・・・

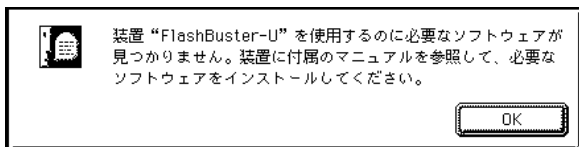
Mac OS 9.0.2、9.0.3 をご使用の場合、本製品を接続したまま Macintosh 本体の電源を ON にすると、思わぬ動作を起こすことが公開されています。これらの OS をご使用の場合は、必ずシステム起動後に本製品を接続してください。弊社では、Mac OS のアップデートをおすすめいたします。

2 . 5 トラブルシューティング

本製品を接続しても認識されない。

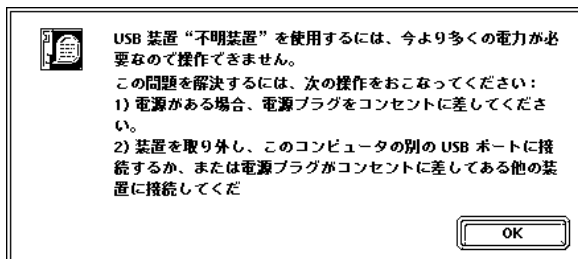
ケーブルの接続に接触不良などがないかどうかを確認してください。本製品の接続に USB ハブを使用している場合は、Macintosh 本体から本製品までの接続経路のうち、ケーブルが外れている部分がないかどうか確認してください。

本製品を接続すると、
以下のようなエラーメッセージが表示される。



本製品のドライバがインストールされていません。2 . 2 節にしたがって、ドライバのインストールを行ってから、本製品を接続してください。

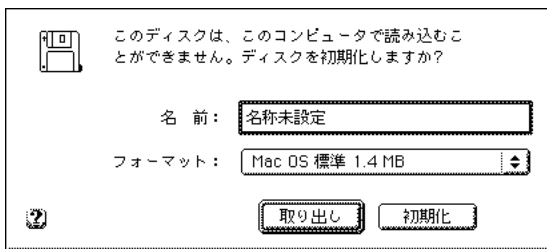
本製品を接続すると、
以下のようなエラーメッセージが表示される。



本製品を Macintosh シリーズのキーボードの USB コネクタに接続していませんか？ キーボードの USB コネクタは、本製品の接続には使用できませんので、Macintosh 本体の USB コネクタに接続してください。

本製品の接続にUSBハブを使用している場合は、USBハブをセルフパワー（ACアダプタなどを接続して、USBハブに独立した電源を取ること）で使用してください。

本製品に特定のフロッピーディスクをセットすると、以下のようなウィンドウが表示される。



そのフロッピーディスクは本製品でサポートしていない形式（例えばMacintosh用の2DD 800KBフォーマット、もしくはPC-9800用の2HD 1.25MBフォーマットなど）でフォーマットされています。

「取り出し」と書かれたボタンをクリックしてから、本製品のイジェクトボタンを押してフロッピーディスクを取り出し、内容を確認してください。

特定アプリケーションのインストーラでフロッピーディスクの交換ができない。

そのインストーラは従来のMacintoshシリーズ内蔵型フロッピーディスクドライブを前提として作成されています。申し訳ありませんが、このタイプのソフトウェアは本製品では使用できません。

本製品のドライブをアンインストールしたい。

システムフォルダの機能拡張フォルダにコピーされた以下のファイルを削除してください。

Logitech USB-FD Driver

Logitech USB-FD Shim

第3章

Windows® CE の場合

3.1 使用環境

パソコン環境

本製品は以下のUSBポート搭載ハンドヘルドパソコンに接続することができます。

株式会社日立製作所	PERSONA	HPW-650PA
	HPW-600JC	HPW-600JCM (*1)
シャープ株式会社	Telios	HC-AJ1, HC-AJ2 (*1)
	HC-AJ3 (*1)	HC-VJ1C (*1)
	HC-VJ2C (*1)	
日本 HP 株式会社	HP Jornada 820	F1260A #ABJ
日本電気株式会社	Mobile Gear II	MC-R700
		MC/R730
		MC/R730F (*1)
日本ビクター株式会社	InterLink	MP-C101
		MP-C102 (*1)
		MP-C303-A
		MP-C303-D
		MP-C304-B
富士通株式会社	INTERTOP CX310	IT310
	PenCentra 130	PENCE130

*1 これらのハンドヘルドパソコンはドライバがインストール済みです。接続するだけでご使用いただけます。そのため、本書の3.2節はとばして3.3節からお読みください。



ご注意

ドライバがインストール済みでないハンドヘルドパソコンで本製品を使用するためには、次のどちらかの環境が必要です。

- a: ハンドヘルドパソコン付属の「ActiveSync」または、「WindowsCE サービス (ソフトウェア)」が対応している、ホスト (メイン) となるパソコン。
- b: インターネット上の弊社ホームページよりダウンロードするための環境。

OS 環境

本製品は以下の OS で使用することができます。

Windows Powered Handheld PC 2000 日本語版
Windows CE, Handheld PC Professional Edition,
Version 3.0 (日本語版)

メディアについて

本製品で使用可能なメディアは下表で のついたものです。

メディア	フォーマット形式	リード/ライト	フォーマット
2HD	1.44 MB DOS / V		
	1.25 MB PC - 9800		×
2DD	720 KB DOS / V		



ご注意

- ・2HD 1.25MB フォーマットディスクは、パソコン側のサポート状態により、リード/ライトができない場合があります。
- ・2HD 1.25MB フォーマットディスクをリード/ライトするためには、パソコンの仕様により他の周辺機器 (Compact Flash カードなど) を取り外さなければならないなどの制限がある場合があります。

3.2 ドライバのインストール

Point

本製品を使用する場合は、本製品を接続する前に付属のドライバをインストールしなければなりません。本章では Windows CE 上から本製品のドライバをインストールする方法を説明します。インストールの方法には2つの方法があります。

ホストパソコンを使用してドライバをインストールする

「3.2.1 ホストパソコンを使用する場合」へ

ドライバをダウンロードしてインストールする

「3.2.2 ドライバをダウンロードする場合」へ

3



ご注意

パソコンメーカーより「アップデートプログラム」などが提供されている場合は、ドライバをインストールする前に導入しておいてください。

例) SHARP Telios の場合:

HC-AJ1 サービスパック 1、

HC-AJ1 USB サービスパック(*1)

NEC Mobile Gear の場合:

ソフトウェアキーボードドライバ修正版

*1シャープ株式会社のご好意により、「HC-AJ1 USB サービスパック」を本製品付属のCD-ROMに収録しております。収録先フォルダは、「DRIVERS¥LFD31U¥WINCE¥テリオス用」フォルダです。「HC-AJ1 USB サービスパック」の詳細については、シャープ株式会社にお問い合わせください。

3.2.1 ホストパソコンを使用する場合



ご注意

ここでは、ホストパソコンにインストールされている OS が、Windows XP / Me / 98 / 95 / 2000 / NT 4.0であることを前提としています。これ以外の OS をご使用の際には、以下のインストール作業を行わないでください。

ハンドヘルドパソコンに対するホストパソコンを用意できない場合は、「3.2.2 ドライバをダウンロードする場合」の手順でインストール作業を行ってください。

ActiveSync のインストール

ホストパソコンとハンドヘルドパソコンを接続し、ご使用のホストパソコンに、ハンドヘルドパソコン付属の「ActiveSync」をインストールしておきます。



ポイント

ActiveSyncやWindows CEサービスについての詳しい内容については、ハンドヘルドパソコン付属のマニュアルをご参照下さい。マイクロソフト社からも、接続ソフトウェアの新版が提供されています。

ドライバのインストール



ご注意

ドライバのインストールが完了するまで、本製品を接続しないでください。

「ホストパソコン」に本製品付属の CD-ROM をセットします。

Point

ポイント

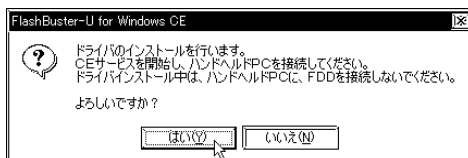
ここで、CD-ROM ドライブの自動挿入機能が有効になっていると、自動的にセットアップランチャーが起動します。この場合は次のステップ を実行しないで、ステップ に進んでください。

デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、さらに CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

セットアップランチャーが起動して次のウィンドウが表示されます。(この画面は、ホストパソコンで使用している Windows によって若干表示される項目が異なります。) ここで「Windows CE ドライバ」と書かれたアイコンをクリックして選択状態にし、「セットアップの起動」ボタンをクリックしてください。



インストール確認ウィンドウが表示されます。ホストパソコンにハンドヘルドパソコンが接続されていることを確認して、「はい」をクリックします。



インストール作業が開始されます。しばらくすると終了メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックします。



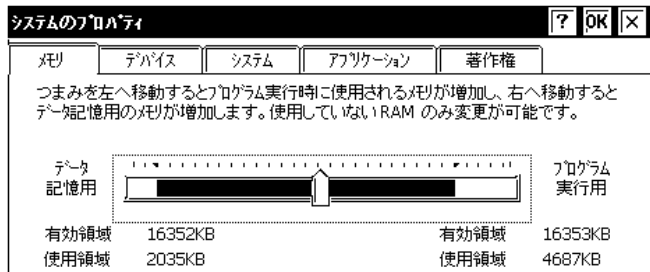
以上で、ドライバのインストールは終了です。ドライバのインストールを行うと、専用フォーマッタもハンドヘルドパソコンにインストールされます。ハンドヘルドパソコンの「マイハンドヘルドPC」の「Windows」フォルダに「USBDFDMMT」ファイル(左欄のアイコン)がコピーされていることを確認してください。この専用フォーマッタについては、「3.4 補足事項」をご参照ください。

3.2.2 ドライバをダウンロードする場合



ご注意

- ・以下の手順はハンドヘルドパソコンがインターネットに接続できる前提で説明されています。インターネットへの接続にはプロバイダとの契約、TCP/IPの設定などが必要です。
- ・ドライバのインストールが完了するまで、本製品を接続しないでください。
- ・ハンドヘルドパソコンのデータ記憶用メモリが不足していると、ドライバが正確にダウンロードできません。「システムのプロパティ」で確認しておいてください。



ドライバのインストール

ブラウザを起動してインターネットに接続し、ロジテックのホームページ (<http://www.logitech.co.jp/>) からドライバをダウンロードします。

ダウンロードファイルは「¥temp」フォルダに保存するようお勧めします。以下の説明は、ダウンロードファイルが「¥temp」フォルダに保存されていることを前提としています。

Point

ポイント

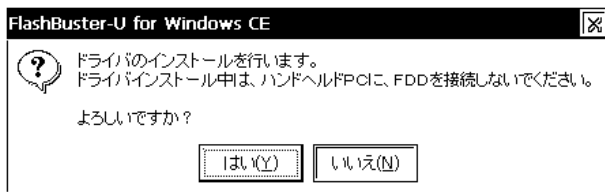
ドライバは、弊社のホームページ (<http://www.logitech.co.jp/>) の「ダウンロード」コーナーにアップロードされています。(ファイルは圧縮されていますが、以下の手順に従うと自動的に解凍されます。)

「スタート」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。「ファイル名を指定して実行」のウィンドウが表示されたら、「¥TEMP¥xxx.CAB」と入力して、「OK」ボタンをクリックします。(ここで、「xxx」はダウンロードしたファイル名です。ファイル名はバージョンなどにより異なりますので、ダウンロード時に確認してください。)

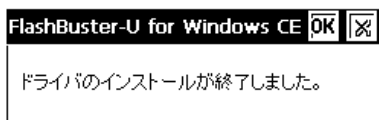
「スタート」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。「ファイル名を指定して実行」のウィンドウが表示されたら、「¥TEMP¥LFD31U¥INSTFBU.EXE」と入力して、「OK」ボタンをクリックします。



インストール確認ウィンドウが表示されます。よろしければ「はい」をクリックします。



インストール作業が開始されます。しばらくすると終了メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックします。

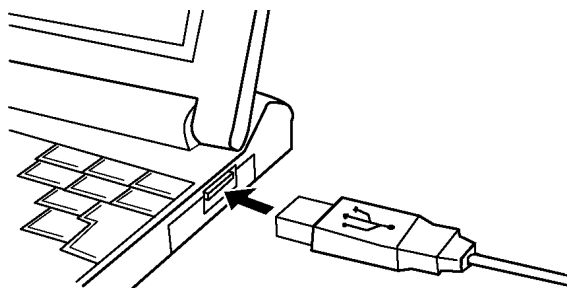


USBDFMT

以上で、ドライバのインストールは終了です。ドライバのインストールを行うと、専用フォーマッタもハンドヘルドパソコンにインストールされます。ハンドヘルドパソコンの「マイハンドヘルドPC」の「Windows」フォルダに「USBDFMT」ファイル(左欄のアイコン)がコピーされていることを確認してください。この専用フォーマッタについては、「3.4 補足事項」をご参照ください。

3 . 3 本製品の接続

ドライバのインストールが終了したら、本製品のUSBケーブルをハンドヘルドパソコン本体のUSBコネクタに接続してください。接続はパソコンの電源がONになっている状態で行っても構いません。



これで本製品が使用できる状態になりました。



ご注意

- ・ドライバがインストールされていない状態のままフロッピーディスクユニットを接続すると、間違ったドライバがインストールされる場合があります。必ず、ドライバをインストールした後、フロッピーディスクユニットを接続するようにしてください。
 - ・本製品をUSBハブ経由で接続することはできません。必ずパソコン本体のUSBポートに直接接続してください。
 - ・本製品はUSBポートより電源供給を受けるため、ハンドヘルドパソコンにACアダプタを接続しないとバッテリーが急激に消耗します。
-



ご注意（続き）

- ・ドライバをインストールし本製品を接続しても、ドライバを要求するメッセージが表示される場合があります。このような場合は、ハンドヘルドパソコンを「ソフトリセット」して下さい。ソフトリセットの方法はハンドヘルドパソコン付属のマニュアルをご参照下さい。
-



参考

日本電気株式会社「Mobile Gear（MC-R700など）」の場合、ハンドヘルドパソコンに正しく接続できるとタスクバーにUSBのアイコンが追加されます。



USBのアイコン

3.4 補足事項

フロッピーディスクの認識

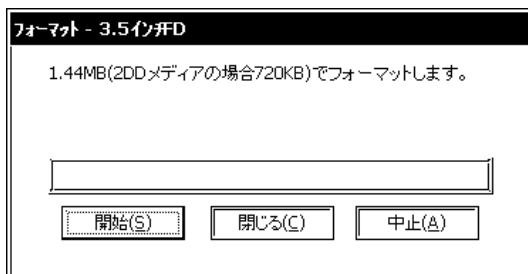
ハンドヘルドパソコンの場合、本製品にフォーマット済みのフロッピーディスクをセットすると、「マイハンドヘルドPC」フォルダの中に「メモ리카ード」として表示されます。これは正常な表示で、この状態でファイルなどのリード/ライトができます。



メモ리카ード

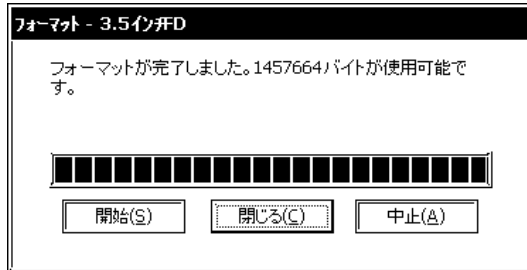
フロッピーディスクのフォーマット

フロッピーディスクをフォーマットするためには、「Windows」フォルダの「USBDFMT」を使用します。ダブルクリックすると専用フォーマッタが起動します。また、未フォーマットのフロッピーディスクを本製品にセットすると、専用フォーマッタが自動起動します。



このままフォーマットする場合は、「開始」ボタンをクリックします。

フォーマットが終了すると、メッセージが表示されますので、「閉じる」ボタンをクリックします。(画面は、2HD 1.44MBのフォーマットが完了したところです。)

**Point**

ポイント

デスクトップ上に「USBDFMTへのショートカット」を作成しておくると便利です。

3.5 トラブルシューティング

本製品を接続したが認識されない。

ドライバは正しい手順でインストールされていますか？
ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。

本製品を WindowsCE H/PC Pro3.0環境で使用する場合、USB
ハブ経由で接続することはできません。パソコン本体の
USB ポートに直接接続してください。

本製品からシステム起動ができない。

USBで接続された記憶装置からのシステム起動はできません。

2HD 1.25MB フォーマットのディスクが
読み込めない。

コンパクトフラッシュカードを併用していませんか？ パソ
コン本体によってはコンパクトフラッシュカードを併用す
ると、2HD 1.25MBのフロッピーディスクをアクセスできな
い場合があります。コンパクトフラッシュカードを取り外
してみてください。

パソコン本体によっては、パソコン自体が 2HD 1.25MB の
フロッピーディスクをサポートしていない場合があります。

デスクトップパソコンに比べ、
リード/ライトが遅い。

パソコン本体の処理速度、USB のデータ転送速度等の制限
により、等倍速のUSBフロッピーディスクユニットの場合、
パフォーマンスはデスクトップパソコン内蔵のフロッピー
ディスクの約半分になる場合があります。恐れ入りますが、
ご了承ください。

スリープ状態から復帰できない。

パソコンのスリープ(サスペンド)状態の処理方法によりこのような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカーから供給されるアップデートプログラムなどによりこの現象を回避できる場合もあります。スリープ状態から復帰できない場合は、スリープ(サスペンド)機能をOFFにしてご使用ください。

ハンドヘルドパソコンでフロッピーディスクのフォーマットができない。または、「問題が発生した」と表示される。

フロッピーディスクがライトプロテクトされていませんか? 何かの原因で、フォーマットに必要なユーティリティやドライバが破損した可能性があります。再度インストールを試みてください。

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

第4章

Windows® XP ,Me , の場合 Windows® 2000

4 . 1 使用環境

パソコン環境

本製品は Windows XP , Me、もしくは Windows 2000 がインストールされ、USBポートを装備しているDOS/Vパソコン(日本電気株式会社 PC98-NX シリーズを含む)に接続することができます。



ご注意

本製品を日本電気株式会社PC-9800シリーズで使用することはできません。

OS 環境

本製品は以下の OS で使用することができます。

Windows XP Home Edition/Professional (日本語版のみ)

Windows 2000 (日本語版のみ)

Windows Me (日本語版のみ)



ご注意

本製品を使用する場合は、Windows XP , Me , 2000上でUSBポートが正常に動作する必要があります。特にUSBポートをサポートしていないOS(例えばWindows NT 4.0 , Windows 95など)からのアップグレードを行った場合は、USBポートが正常に動作していることをご確認ください。

メディアについて

本製品で使用可能なメディアは下表で のついたものです。

Windows XP の場合

メディア	フォーマット形式	リード/ライト	フォーマット
2HD	1.44 MB DOS / V		
	1.25 MB PC - 9800		×
2DD	720 KB DOS / V		×

Windows 2000 の場合

メディア	フォーマット形式	リード/ライト	フォーマット
2HD	1.44 MB DOS / V		
	1.25 MB PC - 9800		
2DD	720 KB DOS / V		

Windows Me の場合

メディア	フォーマット形式	リード/ライト	フォーマット
2HD	1.44 MB DOS / V		
	1.25 MB PC - 9800		×
2DD	720 KB DOS / V		



ご注意

- ・2HD 1.25MBフォーマット済みディスクは、パソコン側の状況により、リード/ライトできないことがあります。
- ・市販バージョンのWindows であれば上表の通り、リード/ライト可能です。

4 . 2 接続の手順

Windows XP , Me , 2000 では、本製品のドライバがあらかじめインストールされています。そのため、ここで説明する手順で本製品の接続を行うと自動的に本製品が使用可能な状態になります。

パソコンの電源を ON にして、Windows のシステムを起動します。

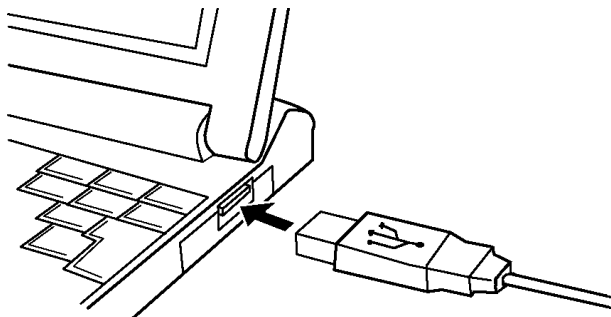


ご注意

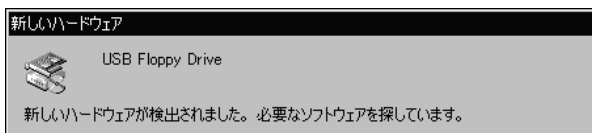
ノートパソコンに本製品を接続する場合は、できるだけノートパソコンに AC アダプタを接続してください。本製品は USB ポートより電源供給を受けるため、ノートパソコンに AC アダプタを接続しないとバッテリーが急激に消耗します。

システム起動が完了したら、デスクトップ上の「マイコンピュータ」のアイコンをダブルクリックして、「マイコンピュータ」のウィンドウを開いておいてください。

本製品の USB ケーブルをパソコンの USB ポートに接続します。(USB ハブを経由してもかまいません。) このコネクタは正しい方向でしか接続できません。(下のイラストはノートパソコンの場合です。)



「新しいハードウェアが見つかりました」とメッセージが表示され、ドライバが組み込まれます。(組み込みにはしばらく時間がかかります。また、このときのメッセージは、以下の画面と異なる場合があります。)



「マイコンピュータ」のウィンドウに、新しい「3.5インチFD」のドライブアイコンが表示されたら、本製品が使用可能な状態になりました。本製品にフォーマットされたフロッピーディスクをセットして、このドライブアイコンをダブルクリックすると、フロッピーディスクにアクセスすることができます。

Point**ポイント**

- ・本製品に割り当てられるドライブ名はパソコン環境によって異なります。以下の説明(取り外しの手順/フォーマットの手順)では、「B:」ドライブが割り当てられているものとして説明されています。
- ・一度ドライバの組み込みが行われると、次回からはメッセージが表示されないで「マイコンピュータ」にドライブアイコンが追加されます。

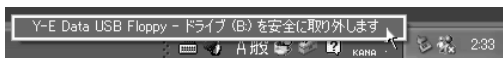
4 . 3 本製品を取り外したい場合

USBはホットプラグをサポートしていますので、パソコン本体の電源がONになっている状態で本製品を取り外すことが可能です。ただし、いつでも取り外しが可能なわけではありません。

本製品にセットしたフロッピーディスク上のファイルが、アプリケーションなどから開かれていないことを確認し、フロッピーディスクを本製品から取り出してから、以下の手順で取り外しを行ってください。

本製品を接続した状態では、画面下のタスクバーに本製品のアイコンが表示されます。このアイコンを1回クリックすると、以下のようにメッセージが表示されますので、マウスカーソルをメッセージに合わせてクリックしてください。(このときのメッセージは、以下の画面と異なる場合があります。)

Windows XPの場合



Windows Meの場合



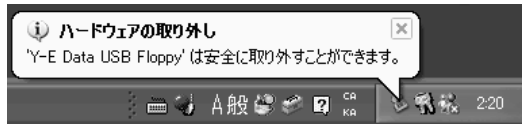
Windows 2000の場合



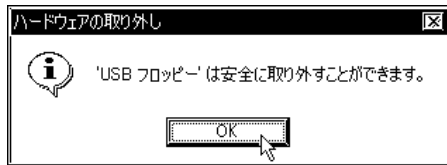
本製品のアイコン

「USB フロッピー」は安全に取り外すことができます」、もしくは「Y-E Data USB Floppy」は安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら、本製品を取り外ししてください。(このときのメッセージは、以下の画面と異なる場合があります。)

Windows XP の場合



Windows Me の場合



4

Windows 2000 の場合



Windows Me, 2000 では「OK」ボタンをクリックして、メッセージをクローズします。

Windows XP では、フキダシのメッセージは数秒間表示された後、自動的に消えるのでここでは何もする必要はありません。

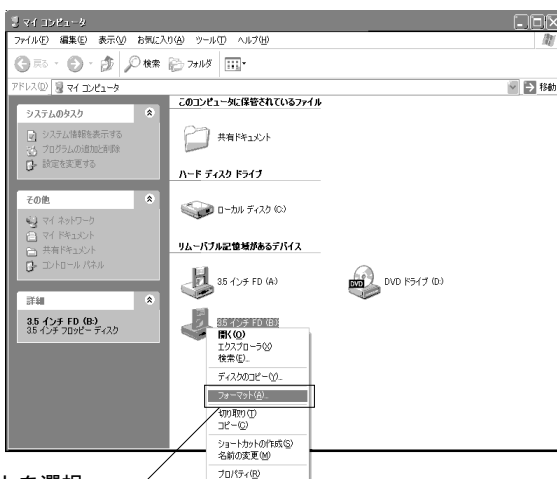
4 . 4 フォーマット手順 (Windows XP)

Windows XP で本製品にセットしたフロッピーディスクのフォーマットを行いたい場合は、以下の手順にしたがってください。

本製品にフォーマットしたいフロッピーディスクをセットします。(フロッピーディスクはライトプロテクトされていないことをあらかじめ確認しておいてください。)

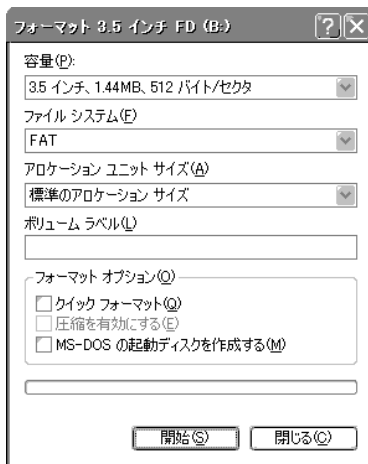
「スタート」メニューから「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、「マイコンピュータ」のウィンドウで、本製品のアイコン「3.5 インチ FD (B:)」を右クリックします。

表示されるメニューから「フォーマット」を選択します。



フォーマットを選択

右のようなウィンドウが開きます。ここで、下の説明にしたがってフォーマットの設定を行ってください。



容量

2HDのフロッピーディスクをセットした場合は「1.44MB」が自動的に選択されます。変更する必要はありません。(Windows XP では1.44MBのフロッピーディスクのみフォーマットをサポートしています。)

4

ファイルシステム

フロッピーディスクの場合は、FAT 以外の設定は選べません。

アロケーションユニットサイズ

この設定は変更できません。

ボリュームラベル

必要に応じて、フロッピーディスクにつける名前を半角11文字以下、全角5文字以下で指定することができます。

クイックフォーマット

すでにフォーマットしたことがあるフロッピーディスクを再フォーマットする場合に、このチェックボックスをチェックするとフォーマットが短時間で終了します。新規購入したフロッピーディスクやトラブルが発生したフロッピーディスクではチェックしないでください。

圧縮を有効にする

このオプションは本製品では指定できません。

MS-DOS の起動ディスクを作成する

OS をフロッピーディスクから起動するためのディスクを作成する際に使用します。

オプション設定が終了したら、「開始」と書かれたボタンをクリックすると、フォーマットが開始されます。

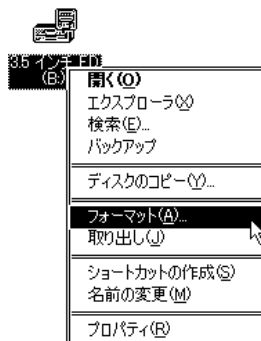
フォーマットが終了すると、フォーマットのウィンドウに戻りますので、「閉じる」と書かれたボタンをクリックして、ウィンドウを閉じ、必要に応じてフォーマットされたフロッピーディスクを取り出してください。

4.5 フォーマット手順 (Windows Me)

Windows Me で本製品にセットしたフロッピーディスクのフォーマットを行いたい場合は以下の手順にしたがってください。

本製品にフォーマットしたいフロッピーディスクをセットします。(フロッピーディスクはライトプロテクトされていないことをあらかじめ確認しておいてください。)

デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、「マイコンピュータ」のウィンドウで、本製品のアイコン「3.5 インチ FD (B:)」を右クリックします。



表示されるメニューから「フォーマット」を選択します。

下のようなウィンドウが開きます。ここで、次ページ以降の説明にしたがってフォーマットの設定を行ってください。



容量

2HD のフロッピーディスクをセットした場合は「1.44MB」が、2DD のフロッピーディスクをセットした場合は「720KB」が、自動的に選択されます。変更する必要はありません。

フォーマットの種類

「クイックフォーマット」は、すでにフォーマットしたことがあるフロッピーディスクを再フォーマットする場合に使用します。

「通常のフォーマット」は、新規購入したフロッピーディスクや、トラブルが発生したフロッピーディスクをフォーマットする場合に使用します。

オプション

「ボリュームラベル」のテキストボックスでは、必要に応じてフロッピーディスクにつける名前を半角11文字以下、全角5文字以下で指定することができます。

「ボリュームラベルなし」のチェックボックスは、ボリュームラベルが必要ない場合にチェックしてください。

「結果レポートの表示」のチェックボックスは、終了時に結果を表示するかどうか設定するものです。通常はチェックしたままにしてください。

オプション設定が終了したら、「開始」と書かれたボタンをクリックすると、フォーマットが開始されます。

フォーマットが終了すると、結果レポートのウィンドウが表示されますので、内容を確認してOK ボタンをクリックしてください。

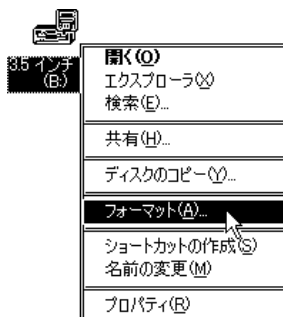
さらに前ページのウィンドウに戻りますので、「閉じる」と書かれたボタンをクリックして、ウィンドウを閉じ、必要に応じてフォーマットされたフロッピーディスクを取り出してください。

4.6 フォーマット手順 (Windows 2000)

Windows 2000 で本製品にセットしたフロッピーディスクのフォーマットを行いたい場合は以下の手順にしたがってください。

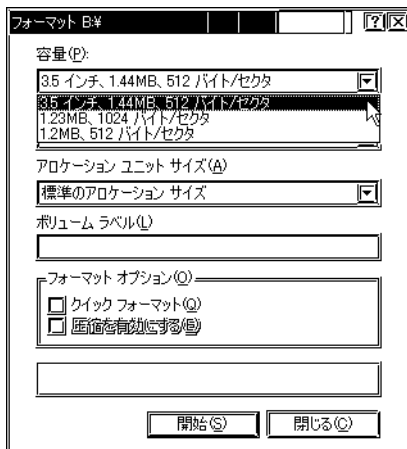
本製品にフォーマットしたいフロッピーディスクをセットします。(フロッピーディスクはライトプロテクトされていないことをあらかじめ確認しておいてください。)

デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、「マイコンピュータ」のウィンドウで、本製品のアイコン「3.5 インチFD (B:)」を右クリックします。



表示されるメニューから「フォーマット」を選択します。

下のようなウィンドウが開きます。ここで、次ページ以降の説明にしたがってフォーマットの設定を行ってください。



容量

2HDのフロッピーディスクをセットした場合は、以下の3種類から選択します。

3.5 インチ、1.44MB、512 バイト / セクタ

通常はこのモードを使用します。DOS/V 標準の1.44MB フォーマットと呼ばれます。フォーマット後のプロパティでは、「1,457,664 バイト、1.38MB」と表示されます。

1.23MB、1024 バイト / セクタ

PC-9800 シリーズとデータ交換したい場合は、このモードを使用します。フォーマット後のプロパティでは、「1,250,304 バイト、1.19MB」と表示されます。

1.2MB、512 バイト / セクタ

特殊なパソコンで採用されたフォーマット形式ですので、使用しないでください。フォーマット後のプロパティでは、「1,213,952 バイト、1.15MB」と表示されま

2DDのフロッピーディスクをセットした場合は、自動的に以下の容量になります。

3.5 インチ、720KB、512 バイト / セクタ

フォーマット後のプロパティでは、「730,112 バイト、713KB」と表示されます。

アロケーションユニットサイズ

通常の場合は変更しないでください。

ボリュームラベル

必要に応じて、フロッピーディスクにつける名前を半角11文字以下、全角5文字以下で指定することができます。

クイックフォーマット

すでにフォーマットしたことがあるフロッピーディスクを再フォーマットする場合に、このチェックボックスをチェックするとフォーマットが短時間で終了します。新規購入したフロッピーディスクやトラブルが発生したフロッピーディスクではチェックしないでください。

圧縮を有効にする

このオプションは本製品では指定できません。

オプション設定が終了したら、「開始」と書かれたボタンをクリックすると、フォーマットが開始されます。

フォーマットが終了すると、フォーマットのウィンドウに戻りますので、「閉じる」と書かれたボタンをクリックして、ウィンドウを閉じ、必要に応じてフォーマットされたフロッピーディスクを取り出してください。

4 . 7 トラブルシューティング

本製品を接続したが認識されない。

ドライバは正しい手順でインストールされていますか？
ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。

本製品からシステム起動ができない。

USB は通常 BIOS の管理下にありませんので USB 接続された記憶装置からのシステムの起動はできなくなっています。最近では、多くのパソコンの BIOS に改良が加えられ、本製品でもシステム起動ができるようになっていました。起動ができるか、できないかはパソコン側の BIOS 仕様によります。

スリープ状態から復帰できない。

パソコンのスリープ(サスペンド)状態の処理方法によりこのような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカーから供給されるアップデートプログラムなどによりこの現象を回避できる場合もあります。スリープ状態から復帰できない場合は、スリープ(サスペンド) 機能を OFF にしてご使用ください。

デスクトップパソコンに比べ、リード/ライトが遅い。

パソコン本体の処理速度、USB のデータ転送速度等の制限により、等倍速のUSBフロッピーディスクユニットの場合、パフォーマンスはデスクトップパソコン内蔵のフロッピーディスクよりわずかに遅くなる場合があります。恐れ入りますが、ご了承ください。

フロッピーディスクのフォーマットができない。

フロッピーディスクがライトプロテクトされていませんか？
OSによりサポートされていないサイズのFDをフォーマットしようとしていませんか？

「4.4節」から「4.6節」を参照し、ご使用のOSでサポートされているフォーマット形式をご確認下さい。

Windows XPで、1.25MBフォーマット済みフロッピーディスクを使うことができない。

Windows XPを起動した直後に、1.25MBフォーマット済みフロッピーディスクをセットしたときに、ファイルを読み出すことができないことがあります。起動した直後には、1.44MBフォーマット済みフロッピーディスクをセットし、エクスプローラなどでアクセスし、その後1.25MBフロッピーディスクに入れ替えてご使用ください。

4

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

5.1 使用環境

パソコン環境

本製品は Windows 98 がインストールされ、USB ポートを標準装備しているDOS/Vパソコン(日本電気株式会社PC98-NXシリーズを含む)に接続することができます。



ご注意

- ・本製品を日本電気株式会社PC-9800シリーズで使用することはできません。
- ・次のパソコンには接続できません。ドライバもインストールしないでください。

NTTDoCoMo 製パソコン

例：Libretto Mobile PackIII、Libretto M3/MPC0030A など

- ・本説明書に従い、ドライバをインストールしようとして、「初めて本フロッピーディスクユニットを接続するにも関わらず53ページ以降のハードウェア追加ウィザードが起動しない場合、パソコンにインストール済みのドライバで本製品が認識されている可能性があります。59ページを参照して、本製品がパソコンから認識されているかをご確認ください。
正常に認識されている場合には、ドライバを改めてインストールする必要はありません。パソコンにインストール済みのドライバでご使用いただけます。
-

OS 環境

本製品は以下の OS で使用することができます。

Windows 98

Windows 98 Second Edition

(どちらも日本語版でプレインストールモデルのみ)

メディアについて

本製品で使用可能なメディアは下表で のついたものです。

メディア	フォーマット形式	リード/ライト	フォーマット
2HD	1.44 MB DOS / V		
	1.25 MB PC - 9800		x
2DD	720 KB DOS / V		



ご注意

- ・2HD 1.25MB フォーマットディスクは、パソコン側のサポート状態により、リード/ライトができない場合があります。
- ・2HD 1.25MB フォーマットディスクをリード/ライトするためには、パソコンの仕様により他の周辺機器 (Compact Flash カードなど) を取り外さなければならないなどの制限がある場合があります。

5 . 2 接続とインストールの手順

ここではパソコンの電源がONになっている状態で本製品を接続し、さらにドライバのインストールを行う手順を説明します。



ご注意

パソコンメーカーより「アップデートプログラム」などが提供されている場合は、ドライバをインストールする前に導入しておいてください。

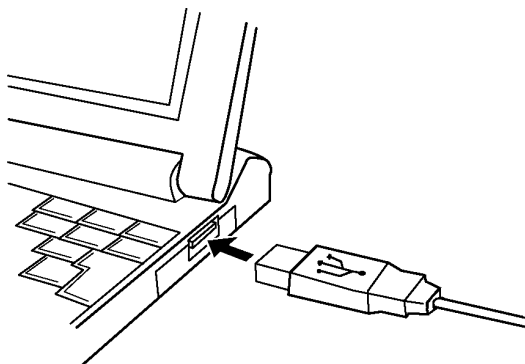
パソコンの電源をONにして、Windows 98のシステムを起動します。



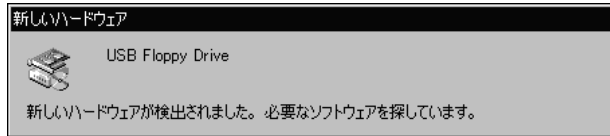
ご注意

ノートパソコンに本製品を接続する場合は、できるだけノートパソコンにACアダプタを接続してください。本製品はUSBポートより電源供給を受けるため、ノートパソコンにACアダプタを接続しないとバッテリーが急激に消耗します。

システム起動が完了したら、本製品のUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続します。(USBハブを経由してもかまいません。)このコネクタは正しい方向でしか接続できません。(下のイラストはノートパソコンの場合です。)



本製品をパソコン本体に接続すると、Windows 98が自動的に標準USBドライバをインストールし始めます。しばらくすると、本製品のUSBドライバをインストールするウィンドウが表示されます。また、このときのメッセージは、以下の画面と異なる場合があります。)



「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されますので、「次へ」ボタンをクリックします。



以下のように表示されたら、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



以下のように表示されたら、「検索場所の指定」と書かれたチェックボックスにチェックマークをつけて、その他のチェックボックスはすべてチェックマークを外してください。

更に下のテキストボックスに「Q:\\$DRIVERS\FLD31U\WIN9X」と入力してください。(ここで「Q:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は、正しいドライブ名を指定してください。)入力したら本製品付属のCD-ROMディスクをセットし、「次へ」ボタンをクリックします。



以下のように表示されたら、「USB FDD」と表示されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。



ドライバのインストールが完了した旨のウィンドウが表示されますので、「完了」ボタンをクリックします。



続いてもう一つのドライバをインストールするためのウィンドウが表示されますので、「次へ」ボタンをクリックします。



以下のように表示されたら、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



以下のように表示されたら、手順 と同じように「検索場所の指定」に「Q:\¥DRIVERS¥LFD31U¥WIN9X」と入力されていることと、CD-ROM ドライブに本製品付属の CD-ROM ディスクがセットされていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。



以下のように表示されたら、「更新されたドライバ(推奨)」のラジオボタンが ON () になっている状態で、「次へ」ボタンをクリックします。



5.2 接続とインストールの手順

以下のように表示されたら、「USB FDD (VXD)」と表示されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。



ドライバのインストールが完了した旨のウィンドウが表示されますので、「完了」ボタンをクリックします。



以上でインストール作業は終了です。「マイコンピュータ」を開いて、本製品が認識されていることを確認してください。

5.3 補足事項

本製品の認識

ドライバのインストール後、「マイコンピュータ」を開くと本製品が新しいフロッピーディスクドライブとして認識され、フロッピーディスクのアイコンが追加されます。

Windows 98では本製品のドライブ名を指定することはできません。ただし、パソコンにインストール済みのドライバを使用すると、まれに「A:ドライブ」固定となる場合があります。

また、再起動後にドライブ名が変更される場合もあります。念のため、再起動してからご使用ください。

本製品の取り外しについて

USBはホットプラグをサポートしていますので、パソコン本体の電源がONになっている状態で本製品を取外すことが可能です。ただし、いつでも取り外しが可能なわけではありません。取り外しの際は以下の点を確認してください。

本製品にセットしたフロッピーディスク上のファイルが、アプリケーションから使用されていないことを確認し、フロッピーディスクを本製品から取り出しておきます。

フロッピーディスク取り出し後、本製品を取外します。



ご注意

本製品を接続した状態でタスクバー上に右のアイコンが表示されている場合は、「4.3 本製品を取外したい場合」(40,41 ページ)のWindows 2000の取り外し手順を参考に取り外しを行ってください。



フロッピーディスクのフォーマット

本製品にセットしたフロッピーディスクをフォーマットしたい場合は、Windows 98 標準の手順で行うことができます。「マイコンピュータ」からフロッピーディスクドライブ（本製品）のアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「フォーマット」を選択してください。

ドライバのアンインストール

何かの原因で本製品のドライバをアンインストール（削除）したい場合は、本製品付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットして、自動起動するセットアップランチャーから「Windows 98 ドライバアンインストール」をクリックして選択状態にし、「セットアップの起動」ボタンをクリックしてください。



アンインストーラが起動しますので、表示されるメッセージにしたがって作業を行ってください。



ご注意

- ・ドライバをインストールしなかったパソコン(本製品のドライバがプレインストールされているパソコン)でこの作業を行うと、Windows 98 そのものの動作がおかしくなることがあります。このようなパソコンではドライバのアンインストールを実行しないでください。
 - ・ドライバのアンインストールを実行すると、本製品は使用できなくなります。アンインストールを実行する前に、パソコンから本製品を取り外しておいてください。
-

5 . 4 トラブルシューティング

本製品を接続したが認識されない。

ドライバは正しい手順でインストールされていますか？
ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。

本製品からシステム起動ができない。

USB は通常 BIOS の管理下にありませんので USB 接続された記憶装置からのシステムの起動はできなくなっています。最近では、多くのパソコンの BIOS に改良が加えられ、本製品でもシステム起動ができるようになっていきます。起動ができるか、できないかはパソコン側の BIOS 仕様によります。

2HD 1.25MB フォーマットのディスクが読み込めない。

コンパクトフラッシュカードを併用していませんか？ パソコン本体によってはコンパクトフラッシュカードを併用すると、2HD 1.25MB のフロッピーディスクをアクセスできない場合があります。コンパクトフラッシュカードを取り外してみてください。

パソコン本体によっては、パソコン自体が 2HD 1.25MB のフロッピーディスクをサポートしていない場合があります。

フロッピーディスクのフォーマットができない。

フロッピーディスクがライトプロテクトされていませんか？

スリープ状態から復帰できない。

パソコンのスリープ(サスペンド)状態の処理方法によりこのような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカーから供給されるアップデートプログラムなどによりこの現象を回避できる場合もあります。スリープ状態から復帰できない場合は、スリープ(サスペンド)機能を OFF にしてご使用ください。

デスクトップパソコンに比べ、リード/ライトが遅い。

パソコン本体の処理速度、USB のデータ転送速度等の制限により、等倍速のUSB フロッピーディスクユニットの場合、パフォーマンスはデスクトップパソコン内蔵のフロッピーディスクより若干遅くなる場合があります。恐れ入りますが、ご了承ください。

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

ハードウェア仕様

機種名	LFD- 31U4	LFD- 31U2 LFD- 31U2JP LFD- 35V2	LFD- 31UE LFD- 31UEJP LFD- 35V
インターフェース	USB 2.0 Full- speed (1.1 互換)		
ディスク回転数 (1.44MB/ 720KB)	1200rpm	600rpm	300 rpm
入力電圧	DC+5V ± 5% (パスパワー)		
消費電力	2.5 W (最大)		
最大消費電流	500 mA		
環境条件 *1	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10% ~ 90 %
	使用時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20% ~ 80%
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き	107 × 19.5 × 145 mm	107 × 18.5 × 145 mm	
質量	280 g	275 g	

*1 ただし結露なきこと。

対応メディアは使用するOSによって異なります。本書の第2章～第4章をご参照ください。

保証と修理について

製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、弊社修理受付窓口にお送りいただくかお求めいただいた販売店へご相談ください。

故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

保証期間終了後の修理につきましては、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品等の問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)の最低保有期間は、製品終息後5年間です。(修理に代わって同等品と交換させていただく場合があります)

オンラインユーザー登録について

弊社Webサイトより、ユーザー登録いただくことをお薦めします。

L-site <http://www.logitec.co.jp/>

登録いただいたお客様を対象に、ご希望に応じて弊社発行のメールマガジン、弊社オンラインショップからの会員限定サービスをご案内させていただきます。また、登録いただいた製品に関連する重要な発表があった場合、ご連絡させていただくことがあります。

個人情報の取り扱いについて

ユーザー登録・修理依頼・製品に関するお問い合わせなどでご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上・アンケート調査等、これらの目的の為に関連会社または業務提携先に提供する場合、司法機関・行政機関から法的義務を伴う開示請求を受けた場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示はいたしません。お客様の個人情報は最新の注意を払って管理いたしますのでご安心ください。

サポート / 修理受付窓口のご案内

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

次の ~ の内容をご確認の上、弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。
FAXにてお問い合わせの場合は、お客様のご連絡先を必ずご記入ください。

現在の状態（できるだけ詳しく）

製品の名称 / シリアル番号

弊社テクニカルサポート連絡先

TEL. 0570-022-022 FAX. 0570-033-034

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 18:00

月曜日 ~ 金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）はご利用になれません。

弊社へ修理品を発送される場合の送付先・注意事項

郵送または宅配便にて修理依頼される場合、以下の点をご確認の上、弊社修理受付窓口まで製品をご送付ください。

- ・ 送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・ 保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- ・ 必ず、「お客様のご連絡先（ご住所 / 電話番号）」、「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・ 保証期間経過後の修理については、お見積りへの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ・ ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。

弊社修理受付窓口（修理品送付先）

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック株式会社 伊那サービスセンター（3番受入窓口）

TEL : 0265-74-1423 FAX : 0265-74-1403

受付時間：祝祭日を除く月～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00

上記電話番号では、修理依頼品や各種サービス（ ）等に関するお問い合わせ以外は承っておりません。製品に関する技術的なお問い合わせや修理が必要かどうかについてのお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお願いいたします。

データ消去サービスやオンサイト保守サービス、ピックアップサービス等の各種サービスを指します。これらのサービスは対象製品が限定されています。また、有償の場合や対象期間内無償の場合など、内容は異なります。詳しくは弊社Webサイトをご参照ください。

弊社Webサイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。

お送りいただいた控えがお手元に残る方法でお送りいただきますよう、お願いいたします。

Logitech USB FD ユニット・ユーザーズマニュアル

2006年

7月改訂

LFD-31UI V16CD

製造元：ロジテック株式会社